

1 受賞団体・個人の名称



東 組合長理事

ありだ

有田コープファーム（和歌山県有田川町）

（問い合わせ先）

TEL：0737-52-3331

（経歴）

平成2年設立。産直を通じて、消費者との信頼関係を深めている。ほとんどの組合員がエコファーマーであると同時に、日生協GAPに取り組んでいる。

（受賞時の経営内容）温州みかん 50ha、その他柑橘 7.1ha
組合員数 89名

2 生産面の取組

- ① たい肥（パーク・牛ふん・稲わら）の投入のほか、ナギナタガヤ等の草生栽培による土づくりを行っている。
- ② 土壌診断に基づく適正施肥を基本に、有機質肥料を中心にした施肥を行っている。有機率の高い配合肥料の使用により、化学肥料の施用量が慣行栽培の5割以下となっているほ場が多い。
- ③ 病害虫の被害による品質の低下は消費者の理解を得ながら、病害虫の生理・生態にあった適期防除を行い、刈り払い機による草刈りにより、除草剤の使用を極力控え、化学合成農薬の使用を9回までに抑えている。
- ④ 有田地方環境保全型農業研究会の会員として、新たな知識を得ている。
- ⑤ 園地の登録制度をとり、栽培履歴の提出を出荷要件として義務づけている。

3 経営面の取組

- ① 有田コープファームで生産している農産物は、化学合成農薬を3割以上削減しており、量販店の認証や安心・安全をアピールするマークなどを付けて販売している。
- ② みかん狩り体験時の写真を載せたPOPを活用し、消費者に身近に感じてもらえるよう努めている。
- ③ 日生協GAPに取り組み、安全・安心な生産物の供給に努力している。



4 取組の成果

生協との産直を中心に、環境保全型農業の取組を維持しながら、安定した経営を行っている。

- ① 経常利益 7,600,871円（平成20年）
8,482,323円（平成21年）
- ② エコファーマーによる生産量
温州みかん 1,626t
その他柑橘 150t

5 地域社会への貢献

- ① みかんの収穫体験、みかんの機能性等の学習会を実施しており、近畿一円から毎年500名程度参加している。
- ② 販売に携わる生協職員や、生協が主催する支部学習会に参加した消費者に対し、みかん栽培の苦労やこだわり、みかんの機能性等の説明を行っている。
- ③ 製造している冷凍みかんのうち、約30tを学校給食に販売し、みかんの消費拡大に努めている。

